

一ご自身の住んでいる地域や危険箇所をご確認くださいー ハザードマップが新しくなりました

問合せ

くらし安全課 消防・防災担当 内線282

近年、全国各地で短時間に河川が増水したり堤防が決壊したりする甚大な被害が発生しています。

洪水時の被害から命を守るためには、氾濫時の危険箇所や避難場所の正確な情報を知っていることが大切です。広報すぎと4月号とともに配布する新しくなった洪水ハザードマップをご確認ください。

洪水ハザードマップとは

台風や豪雨等により河川が氾濫した時の浸水状況を示した地図です。
杉戸町では、平成22年3月に発行した杉戸町洪水ハザードマップの内容を見直し、令和3年3月に新しいハザードマップを作成しました。

ご家族や地域の皆さんで、ご自分の住んでいる地域や危険箇所を改めて、ご確認ください。

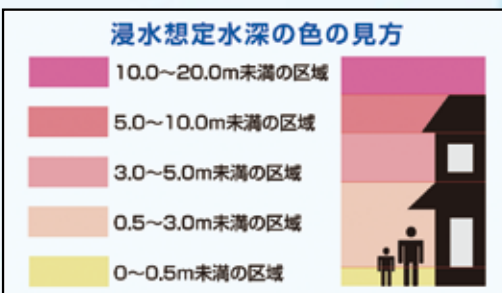


利 根 川	江 戸 川	荒 川	大落古利根川
利根川流域、八斗島上流域の 72時間総雨量491mm (概ね1000年に1回程度)	利根川流域、八斗島上流域の 72時間総雨量491mm (概ね1000年に1回程度)	荒川流域の 72時間総雨量632mm (概ね1000年に1回程度)	中川流域の 48時間総雨量596mm (概ね1000年に1回程度)

杉戸町において対象となる河川は、国または県が浸水想定区を公表した**利根川**、**江戸川**、**荒川**、**大落古利根川**です。

主な4つの変更点

- 今までの『200年に一度の最大降雨』を想定したマップを、『1,000年に一回程度起こる大雨を想定し、氾濫した際の浸水想定区域』を表示
- 浸水深を20m、10m、5m、3m、0.5m を境界とした5段階に区分して浸水深を色分けし表示
- 浸水深の配色をISO等の基準や色覚障がいのある人への配慮、他の防災情報の危険度表示との整合性も含めて赤系に変更
- 自治体が発信する避難に関する情報が複雑で分かりづらいということで、直感的に理解し、適切な行動がとれるよう、町が発令する避難情報や気象庁等による防災気象情報を災害発生の危険に応じて5段階の警戒レベルを表示



避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について

災害時において、避難所などの不特定多数の方が集団生活する場所では、新型コロナウイルスや他の感染症に感染するリスクが高まります。

新型コロナウイルスが収束する前に、地震や水害等の発生により避難所を開設する場合、3つの密（密閉・密集・密接）をできる限り避けるため、町として適切に対応します。

また、自宅での安全確保ができる方は、感染を避けるために避難所を利用せず、『在宅避難』のご協力をお願いします。

町民の皆さまにも日頃から避難場所や備蓄品の確保、また、避難所における感染拡大防止のため、ご協力をお願いします。



話題 TOPICS

2月11日(木)～14日(日)／杉戸町の生活と観光写真コンテスト 町の魅力を写真でPR

生涯学習センター（大字大島）にて、町内で撮影された未発表の作品や、四季を通じ町の観光・宣伝に役立つ作品、計55点を集めた写真コンテストが開催されました。コロナ禍で軒並みイベントが中止となり、出展数の減少を懸念していましたが、例年とは異なる表現の作品が多数寄せられました。

〓商工観光課



大島実行委員会代表は、「まちの魅力を写真を通してPRすることで、人や企業の誘致につなげていけば」と語っていました。

2月22日(月)／寄付金贈呈式 感染症対策のために寄付をいただきました

明治安田生命保険相互会社様から、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、役立てていただきたいとのご意向を受け、町へ現金15万円の寄付をいただきました。

〓財産管理課



（写真左から）古谷松雄町長、平山賢越谷支社杉戸宮代営業所長
古谷町長コメント：寄付をいただきましたことは大変ありがたく、新型コロナウイルス感染症対策費用として、有効に活用させていただきます。
明治安田生命（相）代表者コメント：地元の地域社会に貢献するため、今後も継続して町のお手伝いをしていきたいと考えています。

1月24日(日)／ネット情報を見極める「4つのスイッチ」 想像力のスイッチを入れよう！

西小学校的の授業の様子が、NHKテレビで放送されました。内容は、コロナ禍において情報が氾濫している中、想像力を働かせ、情報の真偽を判断するポイントを考えさせるものです。授業の教材で、使われた「想像力のスイッチを入れよう」は、子どもだけではなく、大人にとっても分かりやすい内容となっています。

〓秘書広報課



皆さんも一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。



(QRコード)

2月1日(月)／表敬訪問 寄付をいただきました

現在、交通指導員会会長を務める中川定雄氏が、交通指導員讃歌を作成したことを報告するため、表敬訪問されました。中川氏は、演歌歌手（芸名：春日道夫）でもあり、交通指導員の方々の士気高揚を図るため、歌にしたとのこと。併せて、歌手活動での売上金の一部から町へ、1万円の寄付をいただきました。

〓くらし安全課



（写真左から）古谷松雄町長、交通指導員会・中川会長
古谷町長コメント：寄付をいただきましたことは大変ありがたく町民の皆様のために、有効に活用させていただきます。
中川会長コメント：町のため、町民のためにぜひ役立てていただきたいと思います。

動物と触れ合う楽しいひととき

2月26日(金)／杉戸白百合幼稚園（大字下高野）



コロナの影響により、遠足など中止となった行事の代わりに、東武動物公園から杉戸白百合幼稚園の運動場にアルパカ・モルモット・うさぎ・ヤギ・羊などを連れての移動動物園が開催されました。

子ども達は様々な動物と触れ合い、とても楽しんでいました。コロナ禍でたくさんの行事が中止となってしまいましたが、この移動動物園が新たな思い出として刻まれたことでしょう。（広報特派員 渡辺 光子）

みんなで協力しきれいな学校に

2月13日(土)／杉戸第三小学校（大字堤根）



杉戸第三小学校にて、クリーン活動が行われました。今回は、西門側フェンスの塗装とプール周辺の整備でした。

前PTA会長が塗装の仕方を教えてくださり、親子でローラーやハケを使って錆びてしまったフェンスを塗装しました。三小カラーのブルーのペンキが鮮やかでした。伐採整備は、お父さんたちが大活躍。コロナ禍の中ですが、みんなで協力して、気持ちのいい活動だったことと思います。（広報特派員 木村 沙織）